

## ネットアップ、GPTWの調査で「働きがい認定企業」として認定

ネットアップ合同会社（本社：東京都中央区、代表執行役員社長：中島シハブ）は、2024年11月14日に Great Place To Work®（以下、GPTW）の調査で「働きがい認定企業」に選ばれましたのでお知らせします。



GPTWの調査は、従業員の職場環境、管理職の質、福利厚生、企業文化に関する包括的なフィードバックを収集します。認定を受けるためには、調査の結果、従業員に対して「自由と責任」「尊重」「公平性」を提供している企業であることが求められます。当社は「誰もが参加できる」「誰もが一員であることを実感できる」「誰もが成長・貢献できる」企業文化を目指して、ダイバーシティ、インクルージョン、ビロンギングの取り組みを推進しています。社内では、異なるバックグラウンドのメンバー同士が助け合い、切磋琢磨しながらお客様のDXに貢献しています。また、クラウド、ソフトウェア、データ管理インフラなど、主軸事業が多岐にわたりますので、性別や年齢、経歴に関係なく、多くのキャリアチャンスを得られるように制度を整備しています。今後も個人・組織・事業の成長と共に、社会貢献に取り組み、多様なメンバーが生き生きと、自分らしくあれる職場を目指して改善していきます。

ネットアップ合同会社 代表執行役員社長 中島シハブ・ドゥグラは、次のように述べています。

「この認定を励みに、今後も従業員にとって最高の職場環境の整備に努めていきます。NetAppの継続的な従業員満足度への取り組みと、職場における敬意の文化を示すことができ、大変光栄です。この認定は、NetAppの革新的な文化を育むために我々が行ってきた努力の証であり、協力的で包括的な環境が、社員の成長と成功を促進し、NetAppのお客様にも優れたサービスを提供できると考えています。」

以上

## Great Place to Work® Institute Japanについて

Great Place to Work® Institute は、世界約60か国に展開し、「働きがいのある会社」を世界共通の基準で調査・分析、各国のHPや主要メディア等で発表しています。米国では、1998年より「FORTUNE」を通じて毎年「働きがいのある会社」ランキングを発表しており、同国ではこのランキングに名を連ねることが「一流企業の証」として認められています。日本においては、株式会社働きがいのある会社研究所がGreat Place to Work® Institute よりライセンスを受け、Great Place to Work® Institute Japan（GPTWジャパン）を運営しています。

## NetAppについて

NetAppは、ユニファイド データ ストレージ、統合データ サービス、CloudOps ソリューションを組み合わせ、あらゆる顧客が破壊的イノベーションの世界動向をチャンスに変えることのできる「インテリジェント データ インフラストラクチャ」を提供する企業です。サイロ化しないインフラストラクチャを創出し、可観測性と AI を活用して、最適なデータ管理を実現します。世界最大のクラウドにネイティブサービスとして導入されている唯一のエンタープライズ グレードストレージ サービスのように、NetApp のデータ ストレージはシームレスな柔軟性を提供し、NetApp のデータ サービスは優れたサイバー耐性、ガバナンス、アプリケーションの俊敏性によりデータの優位性を創出します。また NetApp の CloudOps ソリューションは、可観測性と AI を通じて、パフォーマンスと効率の継続的な最適化を提供しています。データの種類、ワークロード、環境を問わず、NetApp がお客様のデータ インフラストラクチャを変革し、ビジネスの可能性を実現します。

詳細については、<https://www.netapp.com/ja/> をご覧ください。ネットアップ合同会社は NetApp の日本法人です。また、[X](#)、[LinkedIn](#)、[Facebook](#)、[Instagram](#) で NetApp をフォローしてください。